

臼杵市 施策評価シート

(令和6年度)

評価 担当課	課名 部落差別解消推進・人権啓発課
-----------	----------------------

コード	V-16-34	施策名	人権意識の高揚	
まちづくりの 目標	磨き輝き続ける市民がつながり、臼杵っこが育つまち(学び)		施策の方針	一人ひとりの人権が尊重されるまちをつくる
5年後の めざす姿	市民一人ひとりがお互いを尊重し合い、心と心のつながりを大切にしている、真に豊かでゆとりのある社会の実現をめざします。そのため、「当事者との出会い」や「当事者の思いや願い」を大切に人権教育を推進します。人権・部落差別問題や男女共同参画社会に関する教育・啓発の充実を図ります。学校においても、発達段階に応じた系統的な人権学習を確保し、確かな知識と実践力・感性豊かでお互いを尊重し合える児童生徒を育てる教育内容の充実を図ります。			
施策の課題	企業や地域への直接的な働きかけや市の各種啓発活動は、継続的に実施するとともに、それぞれの企業団体等の取り組みについて支援する必要があります。また、市内の各種団体の啓発組織の「部落差別解消推進・人権教育啓発推進協議会」の参加団体などを通じて、教育・啓発を継続して進めていく必要があります。男女共同参画の推進については、女性登用率の4割の目標達成のために、市内関係団体等での人材育成やリーダー育成が必要です。			

<施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次臼杵市総合計画 後期基本計画>

新規 指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	地方自治法(第202条の3)に基づく 審議会等の女性登用率	第2次臼杵市男女共同参画基本 計画	目標	%		33.8	35.4	36.8	38.4	40.0
			実績	%	33.6	31.8	29.4	33.6	36.0	36.5
			達成率	%		94.1%	83.1%	91.3%	93.8%	91.3%
	人権学習会を実施した学校の割合	保護者と連携して開催する学習 会を実施した学校の割合	目標	%		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			達成率	%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	人権・部落差別解消推進教育啓発研 修会などの開催回数	臼杵市人権・部落差別解消推進 教育啓発推進協議会	目標	回		60	62	64	66	66
			実績	回	56	51	46	48	58	60
			達成率	%		85.0%	74.2%	75.0%	87.9%	90.9%
	基本計画を策定した企業・団体数	部落差別解消推進・人権啓発課 事業実績	目標	社		2	4	6	8	1
			実績	社	0	0	0	0	0	
			達成率	%		0%	0%	0%		
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
指標の 進捗状況	概ね順調	指標の分析	目標							
			実績							
			達成率	%						

(現状)審議会等の女性登用については目標を達成できませんでしたが、所管する部署への働きかけを強化し数値は徐々に改善しています。人権学習会を実施した学校の割合は100%で推移していきます。研修の実施回数はほぼコロナ禍前での回数に回復しています。企業団体の基本計画を策定については、企業・団体の訪問の際に趣旨説明等を行っているが、現状では策定した団体はありませんでした。(今後)審議会等への女性の登用率を向上を図る取り組みは継続して行います。学校での人権学習は全校実施を継続します。人権研修の実施や、基本計画の策定については、引き続き地域や企業・団体に働きかけを進めていきます。特に人権研修会の実施については、臼杵市部落差別解消推進・人権教育啓発推進協議会の団体等と連携して、継続に取り組みます。

<市民意識調査結果 R6実施結果>

領域名	必要度	満足度	満足度
見直し領域	2.38	2.03	2.30
向上領域: 今後も現状のサービス水準の維持向上が望まれる領域 強化領域: 満足度を高めるよう事業の強化が望まれる領域 見直し領域: サービス水準が適正となっているか、見直しが必要な領域 検討領域: 施策や事業のあり方や内容の検討が必要な領域		浸透度 76.91%	2.20
過去の 調査結果 (領域)	令和3年度 検討領域	令和4年度 検討領域	令和5年度 検討領域

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項	
			R5年度実績	R6年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度		
1	人権問題啓発資料作成事業	啓発看板・啓発チラシ・パンフレット等資料作成	部落差別解消推進・人権啓発課	1,527	1,335	有	概ね順調	向上	貢献度 大	○
2	男女共同参画推進事業	男女共同参画講演会・パンフレット作成、啓発事業ほか	部落差別解消推進・人権啓発課	1,262	1,327	有	概ね順調	強化	貢献度 大	○
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
合計				2,789	2,662	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

施策の評価（今後の施策の方向性）

- 評価の選択肢 ○ 向上 .. 現状の通り維持向上する      ○ 強化.. 現状より強化を図る  
 ○ 見直し .. 現状を見直し適正化を図る      ○ 検討.. 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>...評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
強化	審議会等への女性登用率は委員の役職指定などの問題があり、他の組織の人事に影響され、変動が大きい。団体等への働きかけや審議会等のあり方について担当課と協議しながら進めていく。地域や団体に於いての人権研修もコロナ禍前までの実施回数に回復している。企業や団体への基本計画の策定についても、相手方の理解を得るため働きかけや支援の方法について検討する必要がある。市民に対する人権意識の高揚のためには、継続した啓発や研修が必要です。